

Notes About Discreet® combustion® 3.0.3

for Microsoft® Windows® Updater

combustion3.0.3 for Microsoft Windows アップデータは、ディスクリートのウェブサイトからダウンロードして頂けます。

combustion 3.0.3 アップデータプログラムは、必ず、登録済みの combustion 3 または combustion3.0.1、 combustion 3.0.2 上に実行して下さい。

combustionに関する最新情報やその他のダウンロードについては、サポートページをご覧ください。

combustion 3.0.2のOpenGL機能に対応するOpenGLグラフィックスカード及びビデオ出力カードに関する最新情報は、ディスクリートウェブサイトのサポートページをご覧ください。

combustionに関する詳細は

www.discreet.jp/products/combustion3/index.html

をご覧ください。

ディスクリート製品に関する最新情報は、

www.discreet.jp

をご覧ください。

combustion3.0.3 アップデータのインストールに関する注意事項

combustion3.0.3 アップデータは、 combustion3、 combustion3.0.1、 または combustion3.0.2 のいずれかの上にインストールしてください。

注意： combustion3.0.3 アップデータは、 combustion 2.1.1 または、それ以前のバージョンの上へはインストールできませんので、ご注意ください。

以下は、combustion3.0.3 アップデータをインストールするための必要条件です。

- combustion 3.0.3 アップデータは、Microsoft Windows 2000 または Windows XP オペレーティング・システムにインストール可能です
- Internet Explorer 5.5 以降が必要です。Internet Explorer 5.5 以降は、Windows の [スタート] メニューから [Windows Update] を実行するか、<http://www.microsoft.com/japan/ie/> を参照し、最新版をダウンロードして取得可能です。

修正された問題

本バージョンでは、既存バージョンに存在した以下の問題点を修正しました。

3:2 プルダウン

- 3:2 プルダウンリストから 3:2 プルダウンシークエンスオプションを選びクリップへ加え、クリップをレンダリングした場合、レンダリングしたクリップのフレームレートが正しく計算されるようになりました。
- combustion の Guess 3:2 Phase 機能解析が向上しました。

カラーコレクション

- 他のパネルに行き、カラーコレクション基本コントロールに戻った場合にも、カラーコレクションの基本値及び Mag-Grn パラメータが維持されるようになりました。

Commit to Disk

- フッターをピンポンに設定したレイヤーを Commit to Disk する場合、combustion がコミットする最大フレーム数は、1000 フレーム以下になりました。

エディットオペレータ

- 無効なマークインとマークアウト間のクリップのインポートが可能になりました。

Expressions

- ・ 同じチャンネルカテゴリーの 2 つのエクспRESSION の 1 つをキーフレームに変換した場合、タイムラインでチャンネルのアニメーションカーブを変更できないという問題が解消され、変更可能になりました。

ファイル I/O

- ・ フッテージオペレータサムネイルにおいて、OpenEXR ファイルフォーマットが正しく表示されるようになりました。
- ・ DV ビデオエンコーダを使い、PAL DV ファイルフォーマットを PAL ファイルフォーマットとして正確にレンダリングできるようになりました。
- ・ Adobe Photoshop ファイルフォーマットのインポートモードは、Color + Alpha に初期設定されています。
- ・ ワークスペースをインポートした場合、サーバーリストが複製されるという問題は解消しました。
- ・ Open ダイアログと Open ワークスペースダイアログにおいて、フォーマットを “ 全てのファイル ” に設定すると、ファイルのブラウズが可能になります
- ・ Adobe Illustrator ファイルのインポートをキャンセルすると、combustion がクラッシュするという問題が解消されました。

リニアキーヤー

- ・ リニアキーヤーのカラーピッカ - でキーカラーを再抽出した場合、抽出が正しく行われるようになりました。

ペイントオペレータ

- ・ ペイントモジュールにおいて高解像度で作業している場合、特に、クローン・リビルツールを使用している場合のスピードと安定性が向上しました。
- ・ ブラシパレットでサイズ 1 のカスタムブラシを作成する場合、使用できないカスタムブラシが作成されるという問題が解消しました。
- ・ 1 つのビューポートにはペイントオペレータを、他のビューポイントには他のペイントオペレータを表示する 2 ビューポートレイアウトで作業する場合、ペイントオブジェクトに適用した Distort Mirror

エフェクトのパラメータを変更することが可能になりました。

QuickTime

- ・ 最大16ビットデプスのQuickTimeフォーマットのインポート及びレンダリングが可能になりました。

レンダーキュー

- ・ アウトプットパスが設定されていない状態でレンダリングを選択すると、スタンドアローンのレンダーキューがクラッシュするという問題が解消されました。

その他

- ・ Animate をオフに設定したレイヤーでは、4角のいずれかを動かすと、レイヤーの4角全てのキーフレームがシフトします。
- ・ Adobe Photoshop フッテージが含まれたレイヤーを“削除する”、“削除を取り消す”操作を選択すると combustion がクラッシュする問題が解消しました。
- ・ Stylize Bump Map オペレータのプロパティを変更すると combustion の動作が不安定になるという問題が解消しました。
- ・ オーディオコントロールでオーディオクリップを再生しながら、再生コントロールで、Current Time インジケータをスクラブすることが可能になりました。